

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なないろStudy(児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 10日 ～ 令和7年 2 月21 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 10日 ～ 令和7年 2 月21 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に応じた課題を作成し提供。	ご契約時やモニタリング時、送迎時に保護者等からの要望を聞き取り、困りごとに対応した課題や支援内容の検討を行っている。また、発達検査の内容や、園との連携を取りながら支援内容の検討を行っている。	本児の強みを大事にし、より良い支援につなげるために、モニタリングだけでなく、日常的に保護者様が相談しやすい関係作りを心がけ、随時、支援内容を見直し、改善に努めます。
2	ビジョントレーニングで左右の脳のバランス良い使い方を習慣づける。	利き手ばかりになりやすいので、使おうとしない手側にも意識を向けるような声掛けをしていく。また、ビジョントレーニングの実施がまだ難しい利用者には、アナログビジョントレーニング等で練習しながらビジョントレーニング機器への導入をしていく。	スタッフの声掛けと、できていることへの褒め言葉を継続し、良い習慣をつけられるようにしていく。
3	保護者様の悩みに寄り添った支援を心がけている。	保護者の悩みに寄り添い、より良い親子関係や、支援ができるよう、LINEや電話で随時相談を受けている。	利用者の行動面を観察して心の状態を見ていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時の定期的な避難訓練は実施され、ブログ、インスタ等で紹介しているものの、周知されていないところがあった。	訓練の実施状況やマニュアルを、すべての保護者に周知できるように工夫が足りなかった。	保護者LINE等で避難訓練実施の写真や様子を参加者に送るとともに、他の保護者向けにもSNSを見てもらえるようお知らせする。
2	学習特化でもあり、利用者が少ない。	小学生が多く、限られた時間枠になりやすいことと、園の中抜けができる利用者中心であること。	土曜日、平日の保育園迎え、自宅送りの夕方の時間帯や保護者様が送迎できる土曜日枠を設けている。

3			
---	--	--	--